

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第2回ふじみ野市地域自立支援協議会		
開催日時	令和6年7月26日（金） 開会時刻 午後2時 閉会時刻 午後4時		
開催場所	大井総合福祉センター4階 多目的ホール		
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名 氏名
	会長	中島 修	委員 小林 郁子
	副会長	柳川 道子	委員 利根川 陽子
	委員	佐藤 麻由美	委員 加藤 千春
	委員	小菅 友美	委員 藤川 友子
	委員	河田 智美	委員 野原 眞二
	委員	福應 渉	委員 太田 肇
	委員	岩長 泰志	委員 村上 秀貴
	委員	田中 壽子	
会議の議題	(1) 日中サービス支援型共同生活援助の利用状況について (2) 令和5年度ふじみ野市基幹相談支援センターの事業報告 (3) 令和5年度ふじみ野市基幹相談支援センターの評価について (4) 部会報告		
会議の公開又は非公開の別	一部公開（議題(1)のみ非公開）		
会議の非公開の理由	ふじみ野市情報公開条例第6条第4号に該当		
傍聴人の数	1人		
会議の内容	別紙のとおり		
会議資料	別添のとおり		
事務局	福祉部障がい福祉課		
議事の確定	確定年月日	令和6年8月9日	
	記名押印 又は署名	役職名 会長 中島 修 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。	

発言の要旨

発言者	議題 ・ 発言内容
事務局	開会
中島会長	中島会長あいさつ
	議事 1 (非公開)
事務局	議事 2 ・ 議事 3 資料に基づき説明
中島会長	質問等はあるか。
福應委員	地域生活定着支援センターとは、矯正施設出所者等の支援を行っている施設のことか。 また、資料の中で一般、基幹と別れているが、一般については市町村事業の一般相談窓口ということか。
事務局	そのとおりである。
福應委員	先日、川越少年刑務所に伺う機会があったが、社会復帰プログラムの対象が26歳まででそのうち半数以上が福祉の支援が必要と思われる。 今後、基幹相談支援センターと地域生活定着支援センターの連携が重要になると感じている。
中島会長	再犯防止推進計画の観点からも障害者、高齢者の再犯が増えていることもあり、地域生活定着支援センターとの連携が重要になる点は同意見である。
柳川副会長	相談件数が着実に増えているのは良いことである。 精神障害者の相談が7割でここに知的障害、発達障害が加わってくると、非常に総合的な、いわゆる支援の基幹として役割が重要になってくる。
中島会長	児童の支援の面でふじみ野市の体制を確認したい。 こども家庭庁が発足した関係で、子育て世代包括支援センターをこども家庭センターに発展させる必要が出てきた。ふじみ野市の体制はどうか。
事務局	こども家庭センターを今年度4月に開設した。 虐待関係などの一部の事業に特化したものからスタートし、徐々に展開していくと担当

	<p>部局から聞いている。基幹への発展はこれからになる。</p>
中島会長	<p>制度改正のスピードが速くて市町村は大変だと思う。</p> <p>重層的支援体制整備事業が始まっているので、基幹相談支援センターにおける児童の相談件数が増えていくと良い。</p> <p>また、研修会や事例検討もよくやっている。重要なので引き続き実施してほしい。</p>
事務局	<p>議事 3</p> <p>資料に基づき説明</p>
相談支援部 会長(小菅委員)	<p>評価点については自己評価通りで良いと考えている。</p> <p>意思決定支援については、引き続きお願いしたい。</p> <p>地域生活支援拠点の周知について、障害福祉サービスと関りが無い人への周知が不十分と考えているので、工夫してほしい。</p>
中島会長	<p>相談支援部会からの評価にある、意思決定支援、地域生活支援拠点等の情報の周知は非常に重要である。</p> <p>質問等はあるか。</p>
副会長	<p>開設から3年でよくここまでできたと感じている。</p> <p>自己評価がB評価なのは、次の課題を認識しているということで評価している。</p>
村上委員	<p>意思決定支援に関して、社会福祉協議会として親亡き後の問題について積極的にやっていきたいと考えている。今後、基幹相談支援センターと連携をしていきたい。</p>
中島会長	<p>意思決定支援については、国がすごいスピードで動いており、一時後見などの議論も始まっている。</p> <p>制度が固まってきたら勉強会などをやると良い。必要であれば詳しい人材を紹介する。</p>
相談支援部 会長(小菅委員)	<p>議事 4</p> <p>7月10日に部会を開催し、今年度の予定、地域生活支援拠点の現状報告を聞いた。</p> <p>今年度から相談支援事業所連絡会を部会の取組の1つとして実施し、ケース検討を行いながら地域課題として整理する。</p>
就労支援部 会長(河田委員)	<p>所沢おおぞら特別支援学校及び富士見特別支援学校の進路担当との意見交換会を8月28日に実施予定である。</p> <p>意見交換会の一週間前に部会の開催を予定している。</p> <p>また、7月26日午前に就労系事業所のネットワーク会議を実施した。</p>

<p>こども部長 (柳川副会長)</p>	<p>医療的ケア児について、市内の小学校で1名受け入れを開始した。これはインクルーシブの視点から重要である。</p> <p>今年度の部会は2回の開催を予定している。学校のソーシャルワーカーにも参加してもらい、医療的ケア児の受け入れについて事業所がどこまで協力できるか、送迎の問題、看護師の配置、連携の在り方を検討していきたい。</p>
<p>権利擁護部 会長(村上委員)</p>	<p>今年度は、「窓口における障がいのある方への配慮マニュアル」の見直しを予定している。次回の部会は10月頃の開催を予定している。</p>
<p>精神部会(事務局)</p> <p>中島会長</p>	<p>精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム、地域移行・地域定着支援に関する検討会の開催を検討している。</p> <p>その他</p> <p>その他、委員から何かあるか。</p>
<p>利根川委員</p>	<p>特別支援を担当して2年目になるが、ニーズが増えている。</p> <p>医療的ケア児の地域での受け入れ体制に不安があるため、こども部会に参加し意見交換をしながら進めていきたい。</p>
<p>小林委員</p>	<p>ふじみ野市においては基幹相談支援センターが基幹としてしっかり機能していると感じている。</p> <p>精神保健福祉法改正、市町村でも精神相談を広げていく形になっている。</p> <p>保健センターなどとの連携をしていければと考えている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>少年刑務所については、ハローワークでも支援しているが、障がいのフォローが難しいと感じている。</p>
<p>太田委員</p>	<p>娘に障害があり、グループホームの1泊体験をしてきた。体験をする前は無理だと思っていたが本人は楽しそうである。自分の部屋があって、自分の好きなことができる、いろんなことが体験できるシステムがあると良いと感じた。</p> <p>勤務先に社会福祉協議会から相談があり、車いす利用者で困っていることなどを聞かれた。よく考えると、車いすが使えない箇所がいくつかあり、合理的配慮の対応をしないといけないと感じた。</p>
<p>野原委員</p>	<p>身体障害者福祉会として、市内の身体障害者に声掛けし基幹相談支援センターの周知をしていきたい。</p>

事務局	<p>その他</p> <p>市の事業として10月から障がい者余暇支援事業（18歳以上対象）を開始する。第2土曜日に実施し、くつろぐスペースやパソコンを用意した情報スペースを設ける。初回は10月5日に講師を招いてポッチャ体験を予定している。</p> <p>次回の会議、11月15日（金）午後2時から開催する。</p>
柳川副会長	閉会あいさつ